

福島県 営農再開支援事業 南相馬市小高区

農業総合センター福島市駐在

南相馬市小高区 ダイコン

実証課題：ダイコンの放射性セシウム吸収抑制対策の実証
既存成果：加里施用による吸収抑制

(「大豆におけるカリウム等の施用による子実の放射性セシウムの吸収抑制」H24放射線関連支援技術情報
「放射性セシウム濃度が高くなる要因とその対策について 大豆」H25農水省、
(独)農業・食品産業総合技術研究機構、(独)農業環境技術研究所)

生産現場からの声

実施する項目

生育期間中の放射性
セシウム濃度を知りたい

収穫物の放射性セシウム
濃度を確認したい

吸収抑制対策

1 土壌分析と土壌改良

目標: 加里 (K₂O) 含量40mg/100g
 塩基バランス (CaO/MgO=6以下、MgO/K₂O=2以上)
 pH6.5

土壌分析(栽培開始前)

土壌群	pH	EC	CEC	石灰	苦土	加里	可給態リン酸	放射性Cs
	[H ₂ O]	[mS/cm]	[me/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]	[mg/100g]	[Bq/kg]
黄色土	5.8	0.1	11.8	145	45	33	48	730

※放射性Csは、12月2日を基準日として半減期補正を行いました。(以下同様)

使用資材と施用量

	資材名	施用量	窒素	リン酸	加里 (kg/10a)
土壌改良資材	カキ殻石灰	60			
	28苦土重焼燐	15		4	
	苦土石灰	100			
	硫酸加里	40			20
計				4	20
基肥	だいこん倶楽部	30	3	4	2
合計			3	8	22

目標とする加里含量が約10mg不足していたため、土壌改良により補いました。

2 栽培試験

9月10日に播種し、12月2日収穫しました。(主な作業は6回)



施肥、播種: 9月10日



収穫: 12月2日



生育: 11月6日

作業日	作業内容	使用資材
8月16日	ブラソイラー	
8月25日	ロータリー耕	
9月10日	播種	
9月10日	除草	トレファノサイド乳剤
9月10日	防除	ネマトリンエース粒剤、フォース粒剤
9月22日	防除	ダコニール1000、ジェイエース水溶剤
10月18日	防除	バリダシン液剤5、ジェイエース水溶剤
12月2日	収穫	

3 放射性セシウム濃度

除染後の農地で土壌改良を実施して栽培したダイコンは、食品中の放射性物質の基準値を十分に満たしました。

ダイコンの放射性セシウム濃度

	¹³⁴ Cs (Bq/kg生重)	¹³⁷ Cs (Bq/kg生重)	¹³⁴ Cs+ ¹³⁷ Cs
11月5日	N.D(<3.0)	N.D(<7.0)	N.D
12月2日	N.D(<3.0)	N.D(<7.0)	N.D



※N.Dは、測定条件の検出限界以下であることを示します。
11月5日は生育期に、12月2日は収穫時に採取しました。

4 収量等階級調査

小高地区の目標A品重量4,410kgに対して、
実証栽培では6,260kgと十分に上回りました。
出荷規格は2L~3L中心で、A品は80%以上でした。

収穫物重量

総重量(g)	調製重量(g)	収量(kg/10a)
1,750	1,530	7,660

出荷規格 (%)

	A	B
4L	10.0	0.0
3L	33.3	5.0
2L	33.3	10.0
L	20.0	1.7
M	3.3	1.7
計	81.7	18.3

